

キャラクター名  
炎堂 沙羅

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ サラマンダー		ワークス	格闘家	カヴァー	道場師範
	オプション		年齢	18	性別	女
覚醒	無知	衝動	破壊	初期侵食率	31 %	
出自	天涯孤独	経験	被害者	邂逅	腐れ縁 (春日恭二)	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	35
肉体	5	1	0			6	行動値	5
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	5
精神	1	0	2			3	戦闘移動	10
社会	2	0	0			2	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	6		射撃			RC			交渉		
回避	2		知覚	1		意志			調達	2	
運転：二輪	1		芸術：			知識：			情報：噂話	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
素手+破壊の爪	白兵	6r+6	0	10		
(破壊の爪) 獣の力	白兵	6r+6	0	20		
獣の力+炎神の怒り	白兵	10r+6	0	20		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
強化服	1	1			

所持品	
携帯電話	
カジュアル	
コネ：噂好きの友人	
応急手当セット	
応急手当セット	

合計装甲： 1    合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス《伝承者：白兵》	P	N		
春日恭二	P	N 嫉妬		
黒い牙	P 好意	N 不安		
つぐみ (PC間ロイス)	P 信頼	N 恥辱		
ノイア	P 庇護	N 不安		
理解者	P 尊敬	N 食傷		
	P	N		

最大財産P: 8    残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンセントレイト：サラマンダー	2	2	メジャー	-	-	-		
効果： 組み合わせた判定のクリティカル値を-Lvする								
破壊の爪	2	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果： 素手のデータ変更								
ハンティングスタイル	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果： 戦闘移動を行う								
獣の力	5	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果： このエフェクトを組み合わせた白兵攻撃の攻撃力+ [Lv×2]								
炎神の怒り	3	3	メジャー/リアクション	-	自身	-	-	
効果： 組み合わせた判定のダイスをLv+1dする。使用したメインプロセスの終了時、HP3点失う								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

炎堂流格闘道場第二十四代目師範を務める少女。  
 もっとも、師範とは名ばかりで、先代の両親が病に倒れて亡くなってしまった為、成り行き上その後を継いだ。  
 一応、アルバイトもしているのにお金に困っているわけではないが、かといって大学に進学する事もなく、  
 バイトと道場の庭掃除を繰り返すだけの生活を送っていた。  
 FHが起こした事件に巻き込まれた際、オーヴァードの力を用いたところを目撃された事がきっかけで、UGNに保護される。  
 FHの存在が何となく気にいらなかった沙羅は、UGNエージェントの協力要請を受諾。  
 新人隊員という事で、“黒い牙”に配属される事になった。  
 (実は「道場に門下生がいなかったので暇だったから」という理由も少なからずある)  
 生前の両親から一通りの指南を受けているとはいえ、格闘スタイルははっきり言って我流に等しい。  
 それでも実力はかなりのもので、素手の喧嘩に関しては今のところ無敗。(無論、否オーヴァードとの話である)

力を使う事(特に一般人に対して)には若干抵抗があり、  
 仕方ないと分かっている、割り切れない部分がある。

ただし、同じ力を使っている悪党や、純粋に全力で戦いたい相手の場合はこの限りではない(本人曰く、気分の問題)

粗暴な所もあるが、基本的な礼儀は心得ているようで、先輩や上司に対しては普通に敬語を使う。  
 (それでも若干慣れ慣れしいところがあるが)

初戦闘(シナリオ前)で自分を負かした春日恭二に対しては、敵対心というよりはライバル心に近いものを抱いている。